



# 大熊町

# 防災マップ

Okuma Town Disaster prevention map

もしもの災害に

備えましょう!

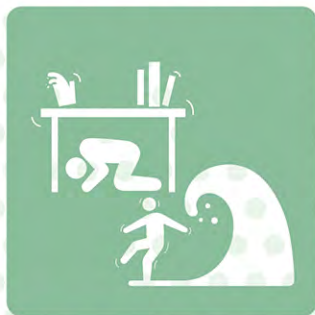


大熊町  
マスコットキャラクター  
「まあちゃん」



大熊町  
マスコットキャラクター  
「おおちゃん小法師」

保存版  
2022年3月



鳥瞰図

地震・津波

洪水・土砂

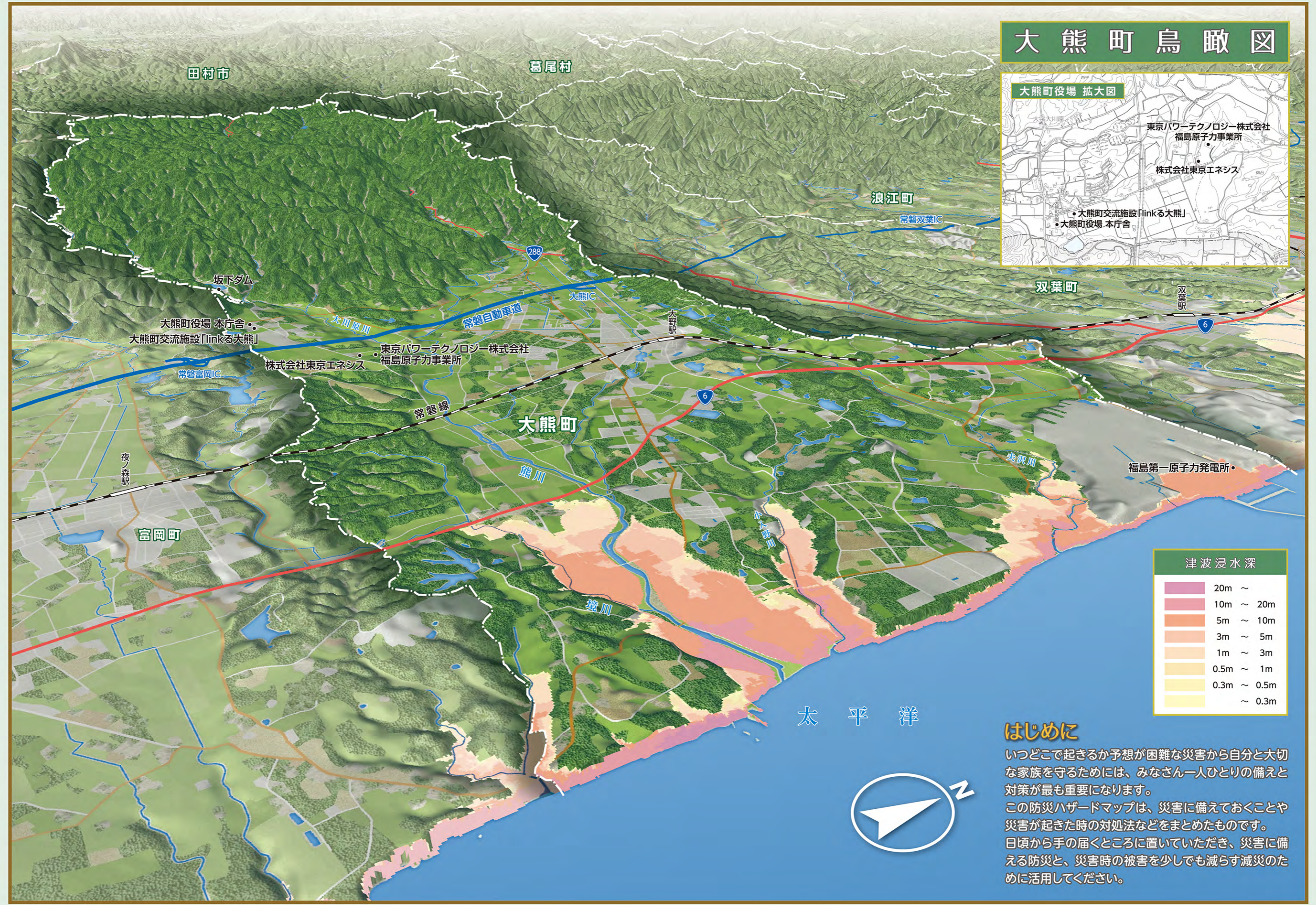
原子力

避難の手引き

災害への備え

その他

# 大熊町鳥瞰図



津波浸水深	
20m ~	20m ~
10m ~	10m ~ 20m
5m ~	5m ~ 10m
3m ~	3m ~ 5m
1m ~	1m ~ 3m
0.5m ~	0.5m ~ 1m
0.3m ~	0.3m ~ 0.5m
~	~ 0.3m

**はじめに**  
 いつどこで起きるか予想が困難な災害から自分と大切な家族を守るためには、みなさん一人ひとりの備えと対策が最も重要になります。  
 この防災ハザードマップは、災害に備えておくことや災害が起きた時の対処法などをまとめたものです。  
 日頃から手の届くところに置いていただき、災害に備える防災と、災害時の被害を少しでも減らす減災のために活用してください。

鳥瞰図  
 地震・津波  
 洪水・土砂  
 原子力  
 避難の手引き  
 災害への備え  
 その他

鳥瞰図  
 地震・津波  
 洪水・土砂  
 原子力  
 避難の手引き  
 災害への備え  
 その他

# 地震・津波災害に備える



鳥瞰図

地震・津波

洪水・土砂

原子力

避難の手引き

災害への備え

その他

## 地震発生時の行動

地震が発生したら、まずは身を守ることが重要です。場所に応じた判断や必要な行動がとれるように確認しておきましょう。また、揺れが収まってでも二次被害への注意が必要です。

落ち着いて  
状況確認!



### まずはとにかく「身を守る」!!

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まずは自分の身を守り、周囲の状況に応じて揺れがおさまるまで待ちましょう。



地震発生から  
1分

#### 屋内では

- ▶ 家具・ガラスから離れる
- ▶ 頭を守る



あわてて外に  
飛び出すのは  
危険です

#### 外出先では

- ▶ 倒壊物・落下物に注意
- ▶ 係員の指示に従う
- ▶ エレベーターは全てのボタンを押して停止した階で降りる



#### 自動車の運転中は

- ▶ ハザードランプを点灯し、徐々に減速し左側に停車する



#### 鉄道・バスに乗車中は

- ▶ 手すりやつり革につかまる

地震発生から  
1分〜5分

### 「揺れ」がおさまったら...

揺れがおさまったら、慌てずに落ち着いて行動しましょう。身のまわりの安全確保と状況確認を行い、避難指示や、家屋倒壊などの危険がある場合は、速やかに避難しましょう。



危険が  
あると  
思ったら



#### 火元の点検

コンロやガス器具、ストーブ、タバコなどの火元を確認し火災を防ぐ

#### 出口の確保

建物の傾きで扉が開かなくなるのを防ぐため扉や窓を開ける

#### 状況の確認

ガラス片や転倒家具に注意し、家族や周囲の安全確認・確保を行う

#### 情報を入手する

テレビ・ラジオなどで正しい災害・避難情報入手する

地震発生から  
5分〜数時間

### 「地域で協力」しよう!!

隣近所も同じように被災しています。余震に警戒しながら安否確認を行い、被害が出ている場合は、お互いに協力しましょう。

- ▶ 危険な箇所には近づかない
- ▶ 行方不明者の確認
- ▶ けが人の救出・救護
- ▶ 手助けが必要な方への協力 (高齢者・障がい者・病人・妊婦など)
- ▶ 火災発生時の初期消火



### 津波注意報・警報 がある場合は

### 「高台へ避難」!!

すぐに大声で知らせる

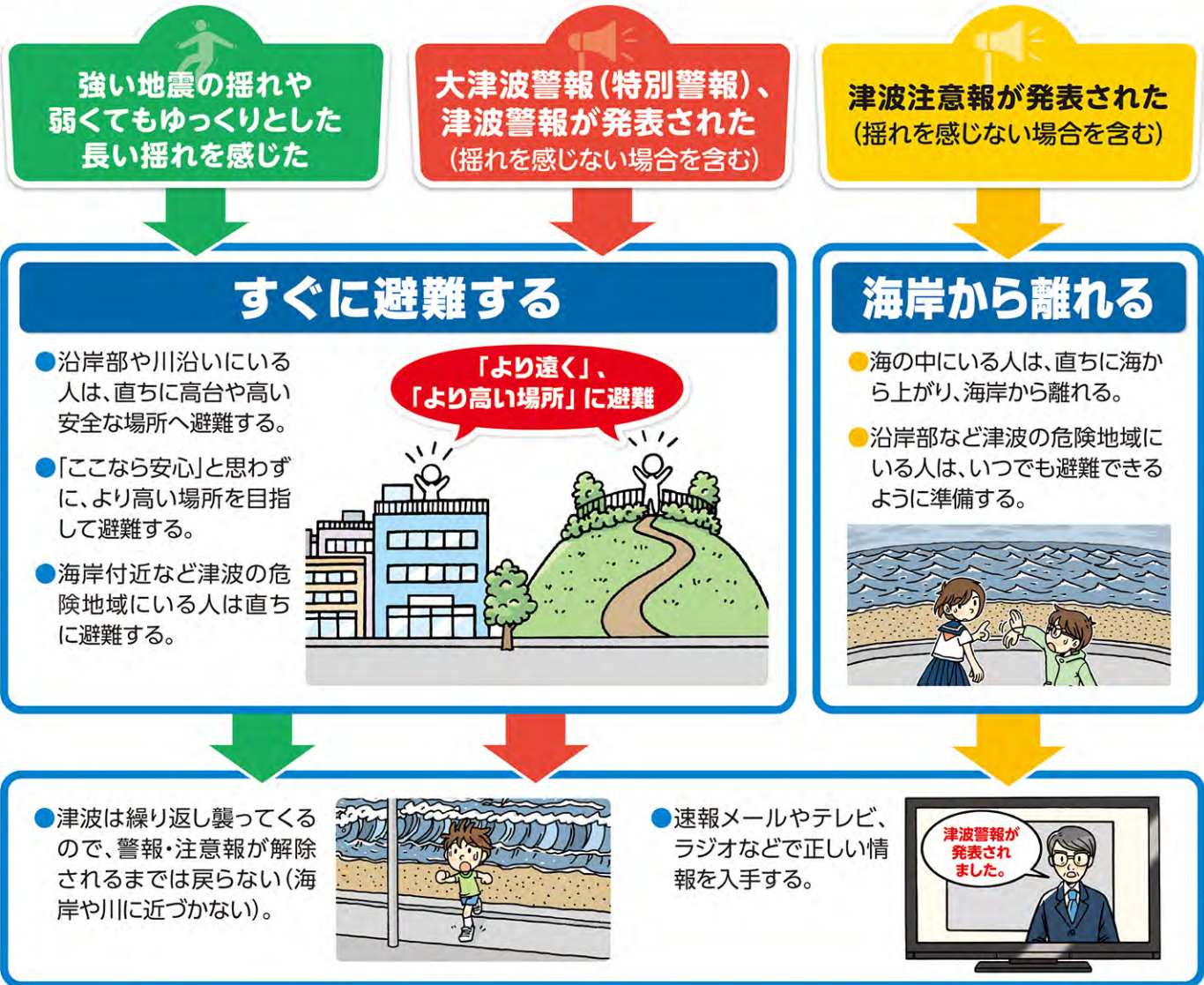
海岸から「遠く」ではなく、「より遠く高い高台」へ避難しましょう。注意報、警報が解除されるまで海辺や河川には近づかないようにしましょう。



# 津波が発生した場合の行動

津波から身を守るにはとにかく逃げてください。強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、または弱い地震であっても長時間ゆっくりとした揺れを感じたときは直ちに海岸から離れ、「より遠く」、「より高い場所」に避難しましょう。

## 津波から命を守る行動マニュアル!



## 知っておきたい津波の威力

津波は水深が30cmでも歩いての避難行動が難しくなり、水深50cm~1mで車が流される強さになります。わずかな揺れでも津波警報・注意報等の情報に注意しましょう。

### 津波は巨大な海水の塊

津波は海底から海面までの全ての海水が大波となって動く、大きなエネルギーの塊です。高さ20~30cm程度の津波でも速い流れに巻き込まれてしまうおそれがあります。また、津波は川を逆流するため、沿岸部だけではなく河川でも警戒が必要です。また海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合ではジェット機並み、陸上ではオリンピック短距離走選手並みの速さがあり、津波を見てから逃げ切るのは困難です。

発表の種類	予想される津波の高さ	
	数値での発表基準	巨大地震の場合の津波の表現
大津波警報(特別警報)	10m超	巨大
	10m	
	3m超	
津波警報	3m以下	高い
津波注意報	1m以下	(なし)

# 洪水・土砂災害に備える



鳥瞰図

地震・津波

洪水・土砂

原子力

避難の手引き

災害への備え

その他

## 風水害への備え

台風や集中豪雨では強風や激しい雨が降るため、時として家屋への浸水・損壊、河川氾濫など様々な被害が想定されます。風水害に備えて日頃の安全対策をしっかり行いましょう。

### ☑ 自宅をチェックしてみましょう!

**チェック 2**   
アンテナは錆びたりゆるんでいませんか?

**チェック 1**   
窓や網戸のがたつきはありませんか?

**チェック 8**   
フェンスやブロック塀はぐらついていないか、ひび割れや破損はしていませんか?

**チェック 7**   
壁の腐食・浮き・亀裂はありませんか?

**チェック 3**   
屋根材がめくれたり、はがれたりしていませんか?

**チェック 4**   
風で飛ばされそうな庭木はありませんか?

**チェック 5**   
プロパンガスボンベは、しっかりと固定されていますか? 配管はぐらついていませんか?

**チェック 6**   
風で飛ばされそうな物(自転車や植木鉢等)を外に置きっぱなしにしていませんか?



### 避難のポイント

洪水・土砂災害から身を守るには、洪水時の浸水情報の入手方法、避難場所や避難経路などを調べて知っておくことが大切です。テレビやラジオ・インターネットで自分たちの地域状況を把握し、異常確認後すぐに動き出せるよう普段から持ち出し品などの準備をしておきましょう。

### 車は控える!



車での避難は、緊急車両の妨げや交通渋滞の問題等がありますので、特別な事情を除きできる限り控えましょう。また、車を堤防や道路に放置しないようにしましょう。

### 歩ける深さに注意!



浸水した場合、歩ける深さの目安は、ひざ下くらいまでです。水深が腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。

### 避難に遅れたら...



万一、避難に遅れ危険が迫った時には、自宅の2階か頑丈な建物のできるだけ高い所に逃げましょう。

避難する時は裸足や長靴は避け、ひも付きの運動靴などを履きましょう!

# 土砂災害に注意!

土砂災害は、雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときなどに発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、土砂災害が起こる可能性がありますので、直ちに安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。

## こんな「前ぶれ現象」に注意!

## 土砂災害の種類



●流水の異常なにごり



●流木が発生  
●溪流内の転石の音



●降雨時での水位の激減  
●地鳴り・ゴーという音  
●土臭いにおい

### 土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。



●湧水量の増加  
●表面流発生



●小石がぼらぼら落下  
●湧水のごり  
●新たな湧水発生



●小石がぼろぼろ落下  
●亀裂発生、斜面のせり出し  
●湧水の停止・噴き出し

### がけ崩れ

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



●湧水量の増加  
●湧水の枯渇  
●井戸水のごり



●亀裂・段差の発生・拡大  
●斜面・建造物のせり出し  
●樹木の傾き、根の切れる音



●山鳴り・地鳴り  
●地面の振動

### 地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象。

※地すべりの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないので注意してください。

## 家の周囲の状況は?

- いつもあふれたことがない河川が氾濫している(しそ)
- いつもはあふれない側溝があふれている
- いつもは冠水しない道路が冠水している
- 近くの道路でがけ崩れ(落石含む)が発生している
- 周辺地域で土砂災害が発生している
- 上記以外に周辺地域でいつもと違う異常な状況が認められる

危険を感じたら早めに  
「安全な場所に避難」  
しましょう!

早期避難が  
大事です!

すぐに避難が不可能、または危険が迫っている場合は、**できるだけ高いところ(自宅の2階など)**に避難しましょう。



## 土砂災害から身を守るためには?

### 台風や大雨に注意する



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20mm以上、または降り始めから80mm以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

### 土砂災害警戒情報に注意する



「土砂災害警戒情報」とは、大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、町長が避難勧告等を発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

# 原子力災害時の避難



原子力災害が起きた場合、何よりも重要なことは、放射線被ばくを避けることです。放射性物質や放射線は目に見えず、匂いもないため原子力災害が発生した場合は、行政などから出される情報をもとにあわてず落ち着いて行動しましょう。

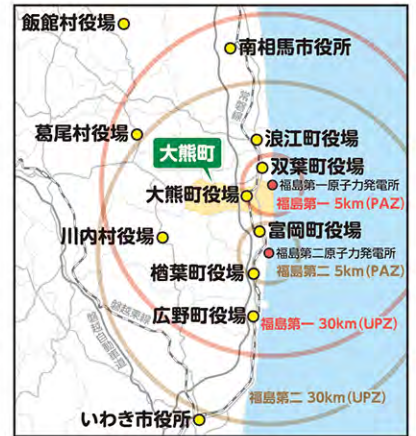
## 原子力災害時の避難行動について

大熊町はUPZに指定されている区域ではありますが、災害や事故により福島第一・第二原子力発電所から万が一、放射性物質が放出される場合にはPAZの対応を念頭に置いた行動をとります。

### PAZ(予防的防護措置を準備する区域)について

**PAZ** 予防的防護措置を準備する区域  
Precautionary Action Zone

原子力発電所から比較的近く、早めに(原子力発電所から、万が一放射性物質が放出される前に)、予防的に避難指示が出されます。



原子力施設からの距離

## 正確な情報入手する

うわさやデマに惑わされないよう、町からの情報伝達手段を確認し、いざという時に迅速・的確に情報入手できるようにしておきましょう。

- テレビ
- ラジオ (FMいわき 76.2MHz)
- エリアメールによる緊急情報の伝達 (Lアラート※)
- 戸別受信機 町より貸出あり

- 防災行政無線
- 大熊町の広報車
- 警察・消防・消防団の巡回広報

- フェイスブックなどのSNS

大熊町のアプリケーション「あいべあ」

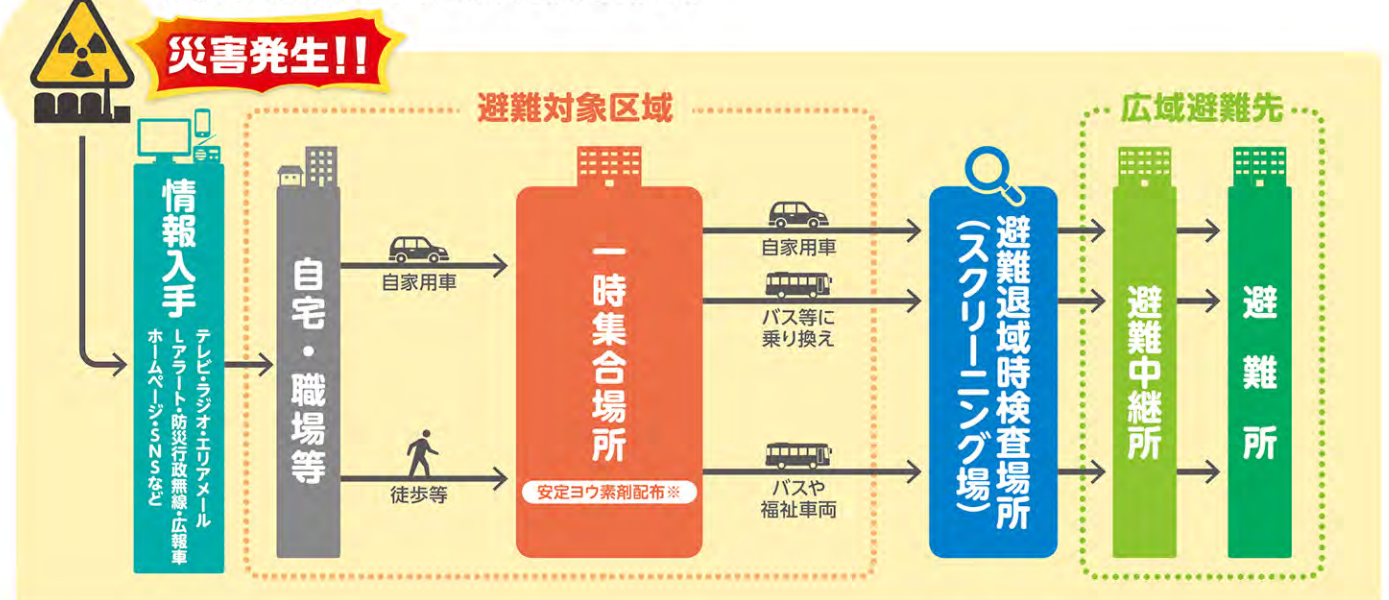
下のQRコードで、あいべあHPにつながります！

住民の協働でまちを元気にする地域密着型のコミュニケーションサービスとして、会津若松市と大熊町が連携しながら運営しています。あいべあは登録制となっており、登録すれば会津若松市と大熊町以外の方も参加できます。

※Lアラートとは 災害などの地域の安心・安全に関わる情報を住民に迅速かつ効率的に提供するシステム。

## 広域避難の手順について

原子力災害時における基本的な避難の流れ。



※安定ヨウ素剤は医師等の指示のもと、配布や服用を行う

## 避難先一覧

避難先市町村における施設名

大熊町地区名	避難先市	避難先市内の施設名
中屋敷	喜多方市	堂島地区公民館
野上1区		第一小学校
野上2区		第一中学校 慶徳ふれあい館
下野上1区		県立喜多方桐桜高校 第二小学校 喜多方プラザ文化センター
下野上2区		押切川公園体育館
下野上3区		第二中学校 松山小学校 上三宮遊樹館 松山公民館 加納小学校
大野1区		喜多方高校
大野2区		熱塩加納体育館 会北中学校
大川原1区		慶徳小学校 上三宮小学校
大川原2区		豊川小学校 豊川公民館
熊1区		山都小学校 山都中学校 山都体育館 山都開発センター 山都保健センター 県立耶麻農業高校
熊2区		堂島小学校 テクノアカデミー会津
熊3区		会津若松市
町区	城西小学校 謹教小学校 第三中学校 県立若松商業高等学校	
熊川区	県立若松商業高等学校	
野馬形区	県立若松商業高等学校 県立会津工業高等学校	
小入野区	県立会津工業高等学校	
大和久区	県立会津工業高等学校 第二中学校	
夫沢1,2区	第二中学校 城南小学校 県立会津高等学校	
夫沢3区	あいづ総合体育館	
東電	第四中学校 第五中学校	
	河東学園小学校	

引用元：福島県原子力災害広域避難計画より。福島県原子力災害広域避難計画を基に、大熊町避難計画を策定予定。位置については地図をご参照ください。



# 避難の手引き



## 1 最新情報入手



ラジオ・テレビ等から最新の気象・災害情報を入手し、危険を感じたら避難準備をしましょう。

## 2 呼びかけに注意



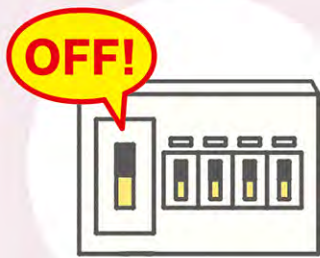
大熊町、消防署、警察署からの避難の呼びかけ、防災行政無線の内容に注意しましょう。

## 3 ガスの元栓を閉める



避難する前にガスの元栓を閉め二次被害を防ぎましょう。

## 4 ブレーカーを落とす



停電しているときでも必ずブレーカーを落としてから避難してください。

## 5 2人以上で避難



できるだけ1人の避難は避けましょう。また、子どもからは目を離さないようにしましょう。

## 6 助け合って避難を



子どもや高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。また、近所の人の場合も積極的に協力しましょう。

### 避難所の開設情報に注意!

やむを得ず避難所に避難する場合は、場所により開設状況が異なる場合があるので、目的の避難所が開設しているかどうかを、戸別受信機やエリアメールなどで確認した上で避難するよう心がけましょう。



動きやすい  
服装で避難を!

ヘルメットや  
防災頭巾など  
で頭を保護

軍手や革手袋などで  
手を保護

長袖、  
長ズボンで

荷物は少なく、非常  
持出品は両手があく  
リュックがオススメ



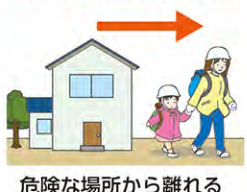
裸足や長靴は避け、履きなれたものを。ひもで締められる底の厚い運動靴や登山靴などが良い  
(踏み抜き防止インソール(中敷き)を入れても良い)

# 避難の方法

## 立ち退き避難

気象情報から判断して事前に安全な場所に避難

- 大熊町からの情報を確認し指示された避難所へ
- 安全な地域の知人・友人宅(町外も含む)へ



浸水している中や河川・水路沿いの避難は危険です。浸水する前に早めの避難を心がけましょう。



## 屋内安全確保

屋外へ出ることが危険な場合、屋内の安全な場所に避難

- 浸水から逃れるため、2階等の高所へ
- 土砂災害の危険がある場合は、山や斜面から反対側の部屋へ



何よりも命を守る行動を！

## 自主避難について～危険を感じたらすぐ避難しよう



その決断がみんなを助けます！

災害が差し迫った場合、各自の落ち着いた避難行動が大切です。特に最近の全国各地に見られる局地的豪雨のような突発的な異常気象の場合には、行政からの避難情報が間に合わないケースもあります。身の危険を感じたら行政からの情報を待たずに、自らの判断で避難行動を開始してください。



## 分散避難について

避難所が開設された場合、状況として普段よりも3密(密閉・密集・密接)の状態に近く、感染症へのリスクが高くなります。「避難」とは、「難」を「避ける」ことであり、分散避難が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。まずはご自身の住んでいる場所の災害リスクを確認して、避難が必要であるか確認しましょう。

「分散避難」とは、災害時に、自宅の2階や近隣宅、車内で待機するなど避難所以外へ避難することにより、3密を

防止し、感染症による2次災害を防ぐための避難方法です。また、自宅が危険な場合も、避難先は大熊町が開設する避難所だけではありません。指定避難所は本来「自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、避難生活を送るための施設」であるため、指定避難所が過密状態になることを防ぐためにも、これからは、「避難所」への避難以外に、「親戚・知人宅」「ホテル」「在宅避難」「車両避難(車中泊)」などさまざまな避難先に、地域の人たちが分散して避難することが大切です。



1 自分の住んでいる場所が「避難の必要がある場所か」防災マップを見て確認する



2 「親戚や友人、知人の家へ避難が可能か」確認する



3 「避難所には感染拡大のリスクがある」ことを再認識し、非常持ち出し品・感染防止物品(マスク、消毒液、除菌シート、体温計等)を準備し、安全確実に避難する

# 災害への備え



## 🕒 1週間分の食料を備蓄しましょう

防災用の食料備蓄は、約1週間分を用意しておくのがベスト。

定期的に(1ヶ月に1、2度)食べて、食べた分を買い足し備蓄していく「**ローリングストック法**」は、食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱えます。



## 備蓄しておくの良いもの

### 冷凍食品

非常食の備蓄だけでなく冷蔵庫なども活用し、1週間分の食料を備えましょう



### 乾麺

(ラーメン・パスタ等)  
ゆで時間の短いものを



### フリーズドライ食品

(スープ等)  
スープ類は食欲が無いときでも摂取しやすい



### カセットコンロ・ボンベ

カセットボンベ1本で約60分使用可能  
停電時に、食材や非常食を調理するために必須



## 非常持ち出し品を備える!

避難用品も一緒に置いておくとう便利!

両手が使えるリュックがおすすめ!

避難する際に必要最低限のものをすぐ持ち出せるように袋に入れて用意しておくのが「**非常持ち出し品**」です。中身は自分にとって必要なものを、家族1人分ずつ準備しておくようにしましょう。使用期限や賞味期限を定期的に点検し、玄関や寝室などに置いておけば、いつでも持ち出すことができます。

### 衛生・救急用品



マスク・体温計・アルコール除菌・絆創膏・包帯・消毒液・常備薬・持病薬・ビニール袋・(ウェット)ティッシュ・生理用品など

### 情報収集用品



懐中電灯・携帯ラジオ・筆記用具など、予備の電池や携帯電話・スマートフォンの充電器も忘れずに

### 貴重品



現金・預金通帳等・印鑑・健康保険証・運転免許証など、重要なものはコピーをとって利用しましょう

### 非常食・飲料水



飲料水・乾パン・ビスケット・ゼリー飲料・栄養補助食品など避難行動時のエネルギー補給ができるもの

### 衣料品・防寒対策用品



雨具・レジャーシート・使い捨てカイロ・防寒具など、雨などに濡れた場合に備えて着替えは1セット分を用意

### 個別必需品





予備メガネ・コンタクトレンズ・補聴器・入れ歯・携帯用杖・紙おむつ・おしり拭き・粉ミルク・哺乳瓶・ベビーフードなど

コロナ対策を万全に!

# 🕒 「わが家のマイ・タイムライン」で避難行動を確認しましょう!


「マイ・タイムライン」は、台風などの接近によって河川の水位が上昇する時に、自分や家族がとる標準的な防災・避難行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動の計画表です。自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握して「**わが家のマイ・タイムライン**」に行動を書き込み、「わが家の避難行動」を確認しましょう。



警戒レベルと避難情報	避難行動チェックリスト	わが家のマイ・タイムライン
<p>注意喚起(大熊町) 早期注意情報(気象庁)</p> <p><b>1</b></p> <p>台風接近 5日前~</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 台風予報を注意して見る。</li> <li><input type="checkbox"/> 家族全員の予定を確認する。</li> <li><input type="checkbox"/> 非常持ち出し品や備蓄品の確認をする。</li> <li><input type="checkbox"/> 薬を病院に受け取りに行く。</li> <li><input type="checkbox"/> テレビやインターネットなどで雨や川の様子に注意する。</li> <li><input type="checkbox"/> 住んでいる所と上流の雨量を調べる。</li> <li><input type="checkbox"/> 川の水位を確認する。</li> <li><input type="checkbox"/> 携帯電話を充電しておく。</li> <li><input type="checkbox"/> ハザードマップを確認する。</li> <li><input type="checkbox"/> 大熊町からの情報に注意する。</li> </ul> 	<p>家族で話し合って記入しましょう!</p> 
<p>自主的広域避難情報 大雨・洪水注意報(気象庁)</p> <p><b>2</b></p> <p>台風接近 3~2日前</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 台風(大雨)情報を確認する。</li> <li><input type="checkbox"/> 家族や知人などと避難について話してみる。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全な場所の親類・知人宅への避難を依頼してみる。</li> <li><input type="checkbox"/> 避難するときの持ち出し品を準備する。</li> <li><input type="checkbox"/> 車で避難する場合は燃料を補給する。</li> </ul>	
<p>高齢者等避難</p> <p><b>3</b></p> <p>台風接近 2~1日前</p>	<p><input type="checkbox"/> <b>高齢者などの災害時要配慮者は、避難を開始する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者や障がい者、乳幼児など移動に時間がかかる方は早めに避難を開始する。</li> <li>■ 上記以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備や自主的に避難をする。</li> <li>■ 体温測定し体調を確認する。</li> </ul>	
<p>避難指示</p> <p><b>4</b></p> <p>台風接近 当日</p>	<p><input type="checkbox"/> <b>全員避難</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 速やかに全員避難!!</li> <li>■ 近所の方へも避難の呼びかけを!</li> <li>■ ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。</li> </ul> 	
<p>緊急安全確保</p> <p><b>5</b></p>	<p><input type="checkbox"/> <b>逃げ遅れたら自宅や建物の高いところに避難する。</b></p>	

### 近所への声掛け


皆さんの周りには、お年寄りや体が不自由な方など、1人では避難が困難な(またはできない)方がいるかもしれません。住民の皆さんが確実に避難するためには、地域の助け合いが不可欠です。



要配慮者を優先し助け合いながら避難をしましょう

### 家族との連絡方法、集合場所を決めておきましょう

災害時に最も心配となるのが家族の安否です。大規模な震災の際には通信回線がつながりにくくなり、安否確認に手間取るケースが多くありました。複数の通信手段を持つことで、連絡が付く確率が高まります。あらかじめ家族のあいだで避難場所を話し合っておきましょう。



# その他の情報



鳥瞰図

地震・津波

洪水・土砂

原子力

避難の手引き

災害への備え

その他

## 雨の強さと降り方と災害の危険性等

雨の降り方から被害の予想が出来ます。

雨の降り方に注意し、警報や避難指示が出る前でも、危険と判断したら、避難などの準備をしたり事前に避難することも大切です。

また強い雨の中で車を使用する際は、車にどのような影響があるのかを理解し、事故や被害の発生を未然に防ぐことを心がけましょう。



	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
一時間雨量と予報用語	1時間に10~20mm未満 	1時間に20~30mm未満 	1時間に30~50mm未満 	1時間に50~80mm未満 	1時間に80mm以上の雨 
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響と屋外の様子	地面からはね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。車の場合ワイパーを速くしても見づらい。	道路が川のようになる。	傘はまったく役に立たなくなる。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水の恐れがある。小規模のがけ崩れのおそれがある。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

一時間雨量と車の運転状況	1時間雨量(ミリ)	車に乗っている時	
	20以上~30未満	ワイパーを早くしても見づらくなる	
30以上~50未満	車輪と路面の間に水膜が生じてブレーキが効かない(高速道路)		
50以上~80未満	車の運転危険		
80以上			

## 覚えておきたい避難知識

### ■ペットとの同行避難について

ペットも大事な家族です。一緒に避難するためにも定期的なワクチン接種やトイレのしつけ、キャリーやケージにも慣れさせておきましょう。避難所には動物アレルギーの避難者もいることから、居住スペースでペットと一緒に過ごすことはできません。また、エサやりや排泄物の処理は責任を持って行いましょう。



犬の登録と狂犬病予防注射、およびワクチン接種は必ず済ませましょう!



ペットも大事な家族です!

### ペット用持ち出し品

- 首輪・リード
- 迷子札 (鑑札や個体情報)
- 水・ペット用フード
- キャリーバッグ・ケージ
- ペット用トイレ用品



# わが家の防災メモ

わが家の避難場所			わが家の集合場所	
家族の連絡先	家族の名前	生年月日	血液型	メモ (病症・病歴、携帯電話番号、勤務先など)
		T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
		T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
		T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
		T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	

**困ったときの連絡先** 親戚や知人・かかりつけ病院などの連絡先を書いておきましょう!

名前	電話	住所	その他
		〒	
		〒	

## 緊急連絡先

### 町役場

- 大熊町役場 環境対策課  
平日 8:30 ~ 17:15 0240-23-7831
- 会津若松出張所  
平日 8:30 ~ 17:15 0242-23-4121
- いわき出張所  
平日 8:30 ~ 17:15 0246-36-5671
- 中通り連絡事務所  
平日 8:30 ~ 17:15 024-983-0686

### ライフライン

- 電気：東北電力㈱コールセンター  
平日 9:00 ~ 17:00 0120-066-774  
停電時の緊急時対応ダイヤル 0120-175-366
- 上水道：双葉地方水道企業団 総務課 営業係  
平日 8:30 ~ 17:15 0240-25-5323
- 井戸水：相双保健福祉事務所 衛生推進課  
平日 8:30 ~ 17:15 0244-26-1363
- ガス：福島県 LP ガス協会  
平日 9:00 ~ 17:00 024-593-2161

### (24時間)消防119

- 双葉消防本部、通信指令係 (火災・救急)  
**火災・救急 119**
- 双葉消防本部、通信指令係 (問い合わせ)  
0240-25-8561

### (24時間)警察110

- 双葉警察署 (盗難・不審者) **110**

※ご契約のガス会社名を記入

医療機関：

※行きつけの病院等を書きこみましょう。

**安否情報などを家族や知人に知らせる方法を確認しておきましょう!**

### 災害用伝言ダイヤル **171**

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言板」です。

**録音** 171 → 1 → 0 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ → **伝言の録音**

**再生** 171 → 2 → 0 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ → **伝言の再生**

案内放送が流れます...

...自宅、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号(市外局番から)

詳しい内容はNTTのホームページで確認してください



ホームページ

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

171 または NTT

検索

### 携帯電話災害用伝言板



大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。

※詳しい内容は携帯電話各社のホームページ等で確認してください

お問い合わせ

**大熊町役場**  
環境対策課

〒979-1306  
福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1717  
TEL 0240-23-7831 FAX 0240-23-7843  
Eメール kankyoutaisaku@town.okuma.fukushima.jp

大熊町HP

